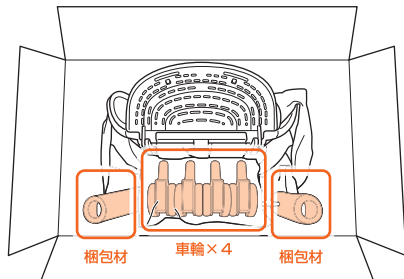


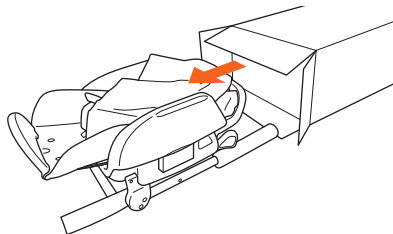
## 製品をご使用になる前に、車輪を取り付けてください。

※床面が傷つくおそれがありますので、下記手順に沿って作業を行ってください。

- 1** まず、車輪を箱から取り出しておきます。  
梱包材はつけたままにしてください。

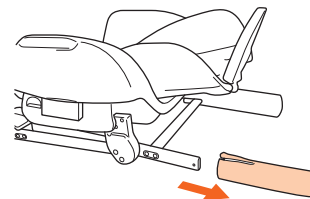


- 2** ラック上側が天面に来るように箱を倒します。  
その後、箱から製品をゆっくりと取り出します。



- 3** 車輪を取り付けるため、梱包材をゆっくりと抜き取ります。

組立作業中に床面を傷つけるおそれがあるため、車輪の取り付け作業は一輪ずつ行ってください。



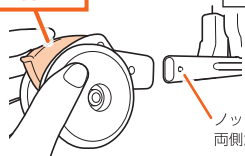
- 4** 下記イラストのように、車輪を取り付けます。  
3-4の作業をくりかえし、4つの車輪を取り付けます。

- ① 車輪のストッパーがラック上側になるように車輪を持つ。
- ② ノックピンを両側から軽く押しながら、カチッと音がするまで車輪を差し込む。
- ③ 車輪を引っ張り、はずれないことを確認する。

**注意** 車輪には上下の指定があります。(ストッパー側が上)  
車輪には前後左右の指定はありません。  
パイプの端部でケガをしないよう、ご注意ください。

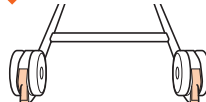
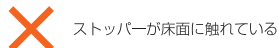
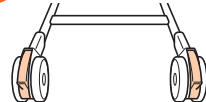
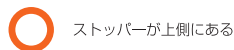
ストッパー側が上

ラック上側



ノックピン  
両側から軽く押す。

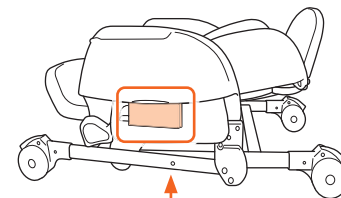
### 正しい取り付けイメージ



クイック

車輪を付け間違えた際は、取扱説明書の「16.車輪を付け間違えた際の対処法」をご覧ください。

- 5** 本体両側面と底面の緩衝材を取りはずして使用します。



※本体底面についた緩衝材(段ボール)が残っていないことを確認してください。



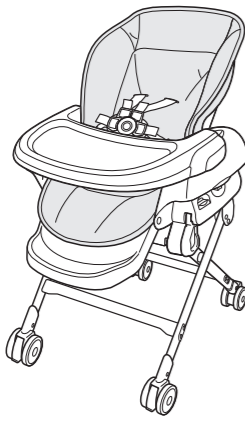
コンビ スウィングベッド&チェア  
ネムリラ Fit シリーズ

取扱説明書

品質保証書

本製品は、室内でお子さま用の簡易ベッドや、いすとして使用されることを目的としており、総称をラックといたします。

● 本製品は一部家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障等については、修理サービスが受けられない場合があります。  
● 本製品の品質保証期間は、本製品を正しく取り扱った上で、修理サービスが受けられない場合を除き、ご購入日より2年（部品は別）とさせていただきます。  
● 本製品は一部家庭用として開発されたものです。業務用として使用した際の故障等については、修理サービスが受けられない場合があります。  
● 本製品の品質保証期間は、本製品を正しく取り扱った上で、修理サービスが受けられない場合を除き、ご購入日より2年（部品は別）とさせていただきます。

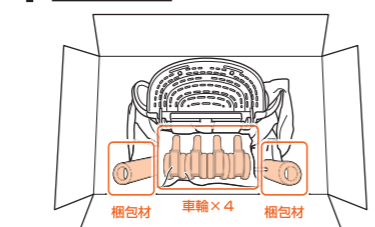


1. ご使用前に

本製品は、室内でお子さま用の簡易ベッドや、いすとして使用されることを目的としており、総称をラックといたします。

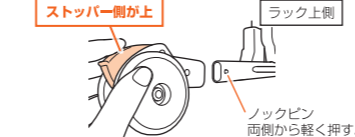
車輪の取り付けかた

1. 車輪を箱から取り出し、お子さまの足元付近に設置する。

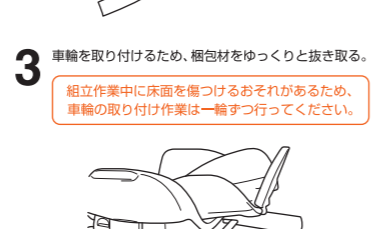


4. 下記イラストのように、車輪を取り付ける。3-4の作業をくり返し、4つの車輪を取り付ける。

- ① 車輪のスタッパがラック上側にくるように車輪を持つ。
- ② ノックピンを車輪から押し込み、カチッと音がするまで車輪を押し込む。
- ③ 車輪を引っぱり、ほすきがないことを確認する。



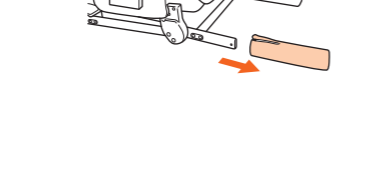
2. ラック上側に天面に来るように箱を開く。その後、箱から製品をゆつりと取り出す。



5. 本体側面と底面の接着材を取りはがして使用する。



3. 車輪を取り付けるため、梱包材をゆつりと引き取る。組立作業中に床面を傷つけないよう注意する。車輪の取り付け作業は一輪ずつ行ってください。



\*本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

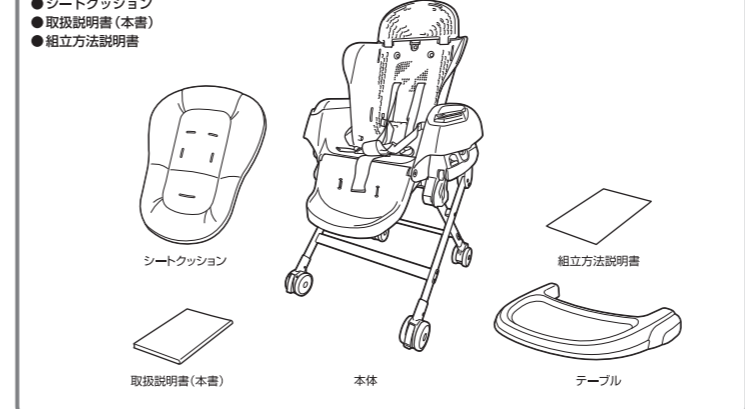
望ましい連続使用時間  
簡易ベッドとして60分間/スウィング15分間 ※1日の合計使用時間：3～4時間

使用できるお子さまの年齢  
新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）  
新生児～5-6ヵ月まで（この取扱説明書では、体重2.5kg以上で在胎期間37週以上のお子さまとしています。）

簡易ベッドとして使用するときは  
新生児～5-6ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は8kg、身長70cmまで）  
※スウィングを使用するときは併用して使用してください。

いすとして使用するときは  
5-6ヵ月（離乳が完了したころ）から48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）  
※リクライニング角度③のみ、2-3ヵ月からご使用いただけます。

梱封されたまま、各部品がそろっているかご確認ください。箱の中にはものが入っています。箱を開いたらすべてそろっていることを確認してください。

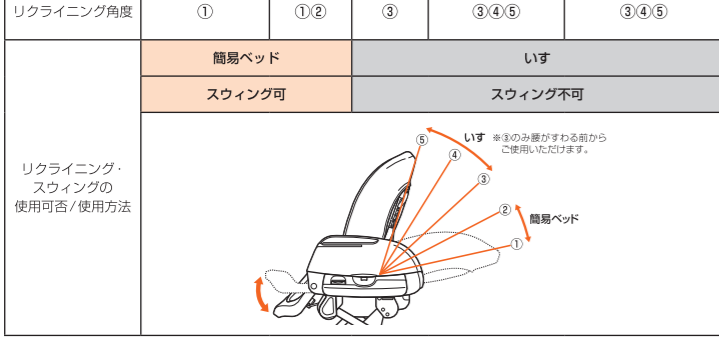


- 組み立てる前に、裏表紙の「品質保証書」に次の項目を記入してください。
  - ① 製品名/ロットNo.（本体背面にあります。）
  - ② お客様の住所・ご住所・電話番号
  - ③ 販売店名

2. 使いかたの目安

本製品は、簡易ベッドや、いすとしてご使用いただけます。お子さまの年齢にあわせて下記の使用条件を守ってください。

月齢の目安	新生児～2-3ヵ月	2-3ヵ月～5-6ヵ月	5-6ヵ月～18ヵ月	18ヵ月～48ヵ月
発達状態の目安	寝がすわるまで	寝がすわるまで	寝がすわったころ	1人で歩むりかたができた
シートベルト	必ず使用	必ず使用	必ず使用	任意
リクライニング	①	①②	③	④⑤



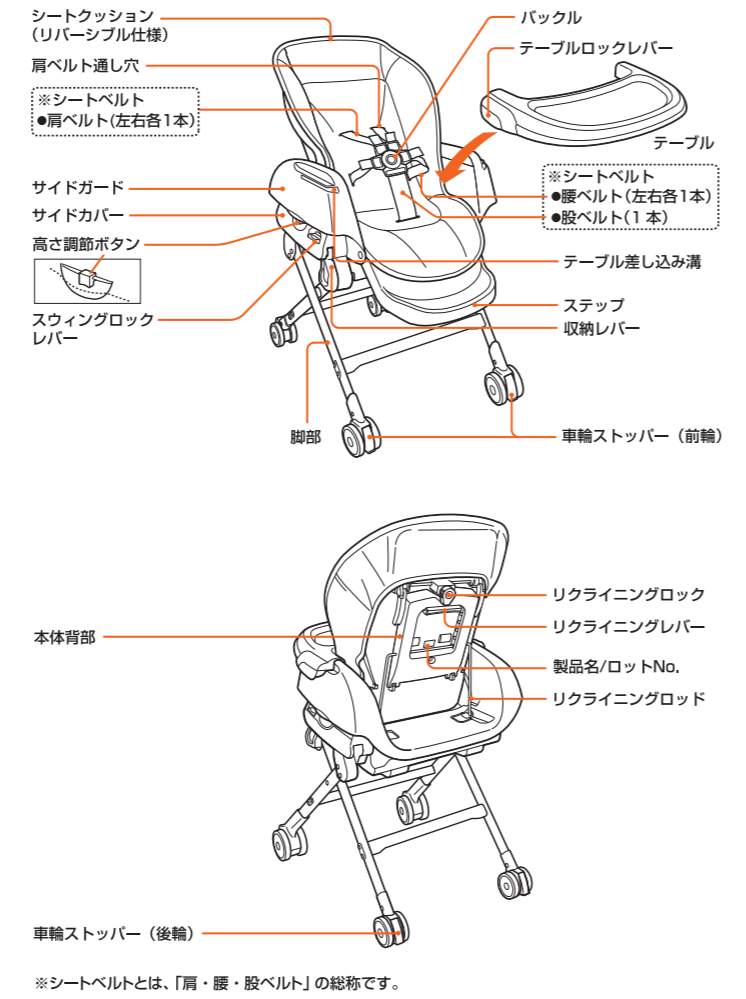
3. 安全にご使用いただくために

● 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全に使用いただき、危険な損害を未然に防止するためのものです。  
● ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が必要な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品を使用してください。  
● ここに記載した注意事項は、取り扱いを誤ると、保護者およびお子さまへの危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危険・損害の大きき、切迫度により「警告」「注意」の2つに区分して示してあります。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の発生が予想されます。
注意	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
注意	禁止行為であることを告げるものです。
補足説明	

- 警告 取り扱いは誤ると重大な事故につながるおそれがあります。
  - 使用できるお子さまの年齢：新生児～48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
  - 簡易ベッドとして使用するときは（リクライニング角度①②）
    - ※ スウィングを使用するときは併用して使用してください。
    - ※ 新生児～5-6ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は8kg、身長70cmまで）
    - ※ スウィングを使用するときは併用して使用してください。
    - ※ 5-6ヵ月（離乳が完了したころ）から48ヵ月まで（お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg）
    - ※ リクライニング角度③のみ、2-3ヵ月からご使用いただけます。
  - 必ずシートベルトを使用してください。
    - ※ 18ヵ月未満のお子さまは必ず肩・腰・股ベルトも使用してください。
    - ※ 簡易ベッドとして使用するときは、スウィングを使用するときは併用して使用してください。
    - 必ず4つの車輪が正しく設置されていることを確認のうえご使用ください。
    - お子さまの手が届くところに製品を放置しないでください。また、お子さまだけで使用しないでください。
    - シートベルトが肩に巻きつきやすいおそれがあります。
- 必ず保護者の目の届くところで正しく使用してください。また、絶対にお子さまを乗せたまま放置しないでください。
- お子さまは必ず補助をします。一人で立ち上がるおそれがあります。目を離さず十分注意してください。
- ラックに掛けたり、大人が荷重をかけないでください。
- 一時的なお便座などには使用しないでください。
- ラックの周りにお子さまが居る場合は、ラックの操作をしないよう注意してください。
- ラックの分解、修理、改造は絶対に行わないでください。
- リクライニングを操作するときは、指や手をはさまないよう、下記の箇所に注意してください。
  - ① リクライニングレバー周辺や本体各部の間
  - ② スワッシュ機構
  - ③ サイドガードと背もたれの間
- シートベルトの長さを調節するときは、必ず両側の長さを調節してください。
- シートベルトの長さは、お子さまの体に合わせ調節し、しっかりと締めてください。お子さまが抜け出して落下するおそれがあります。
- リクライニングで背もたれの角度を変えるときは、必ずシートベルトを調節しなおしてください。お子さまが滑り落ち、シートベルトが絡まるおそれがあります。
- 調節後、シートベルトを引っぱり、抜けがないことを確認してください。

4. 各部のなまえ



※シートベルトとは、「肩・腰・股ベルト」の総称です。

5. シートクッションの使いかた

シートクッションは、リバーシブルでご使用いただけます。

- シートクッションを取りはずしたまま、お子さまを乗せしないでください。
  - ※ 必ずシートベルトを調節しなおしてください。
  - シートベルトの取り付けかたが不完全な場合、使用中にシートベルトが緩みおそれがあります。確実に取り付けられていないことを確認してから、使用してください。
  - 調節した取り付けかたを、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。
  - ペルトを取り付け直せば、それぞれのベルトの幅を引っぱり、抜けがないことを確認してください。
  - お子さまは必ず補助をします。一人で立ち上がるおそれがあります。目を離さず十分注意してください。

#### シートクッションの取り付けかた

1. リクライニングで背もたれを1番立てた状態にする。  
 背もたれを「1」の状態に設定してください。
2. シートクッションを本体にかぶせる。  
 シートクッションを本体にしっかりと固定してください。
3. シートベルト（肩・腰・股ベルト）をシートクッションの裏面に引き出す。  
 シートクッションの裏面に引き出す。
4. 左右のゴム輪を本体両側のフックに付ける。  
 取り付けた後は、シートクッションを本体の形に合わせて整えてください。

シートクッションのはずしかた  
シートクッションをはずすときは、リクライニングで背もたれの角度を1番立てた状態にして、左右のゴム輪を本体両側のフックからはずし、上記「シートクッションの取り付けかた」を逆の手順で行ってください。

レシート（領収書）貼り付け欄

品質保証書  
コンビ スウィングベッド&チェア

保証規定  
1. 保証期間（ご購入日より1年間）に正常な使用状態において、万一発生した場合は無償で修理いたします。修理できない場合は、部品交換または修理費の負担となります。修理費用は別途見積りとなります。修理に要する期間中は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

2. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

3. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

4. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

5. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

6. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

7. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

8. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

9. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

10. 保証期間中に発生した故障は、修理費用を発生させません。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。修理に要する期間は、修理代金としてお支払いいただきます。

品質保証書  
コンビ スウィングベッド&チェア

保証期間  
ご購入日より1年間  
（ただし保証規定による）

お問い合わせ先  
TEL: 048-797-1000 FAX: 048-798-8109  
TEL: 048-797-1000 FAX: 048-798-8109  
TEL: 048-797-1000 FAX: 048-798-8109  
TEL: 048-797-1000 FAX: 048-798-8109

194946020 2402

7. シートベルト（肩・腰・股ベルト）の使いかた

シートベルトとは、肩・腰・股ベルトの総称です。

● シートベルトは必ず使用してください。また、18ヵ月未満のお子さまには必ず肩・腰・股ベルトも使用してください。簡易ベッドとして使用するときは（新生児～5-6ヵ月）必ず肩・腰・股ベルトも使用してください。

シートベルトの締めかた、はずしかた

#### シートベルトを締めるとき

1. お子さまを寝かせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをおかけする。
2. 肩ベルトを肩ベルトに重ねる。
3. お子さまの背に左右の肩ベルトを差込み、カチッと音がすることを確認する。
4. 肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はすきないことを確認する。

#### シートベルトをはずすとき

● お子さまが抜け出さないように、シートベルトを適切な長さで調節してください。

● 長さを調節するときは、肩ベルトを引く。短くするときは、股ベルトを引く。

● お子さまが抜け出さないように、シートベルトを適切な長さで調節してください。

● 長さを調節するときは、肩ベルトを引く。短くするときは、股ベルトを引く。

シートベルトの長さ調節

● シートベルトの長さは、お子さまの体に合わせ調節し、しっかりと締めてください。お子さまが抜け出して落下するおそれがあります。

肩・腰ベルトの長さ調節するとき

締めるとき  
バックルの先端を矢印の方向に引く。バックル表面からベルトを矢印の方向に引く。

ゆるめるとき  
バックル表面からベルトを矢印の方向に引く。バックル裏面を適度な長さまで引き出す。バックル表面からベルトを矢印の方向に引く。

肩ベルトの長さ調節

● シートクッションから股ベルトを引き抜く。  
 ● 調節したい側の長さを引き出す。  
 ● 短くするときは、肩ベルトを引く。  
 ● 長くするときは、股ベルトを引く。

股ベルトの長さ調節

1. シートクッションから股ベルトを引き抜く。  
 2. 調節したい側の長さを引き出す。  
 3. 短くするときは、肩ベルトを引く。  
 4. 長くするときは、股ベルトを引く。

● シートベルトの取り付けかた、はずしかたについては、「シートベルトの取り付けかた・はずしかた」をご覧ください。

● 股ベルトは、股ベルトから取りはずすことができます。

6. 高さ調節の使いかた

お部屋で使用するときの状態に合わせて、高さを段階に調節できます。

#### 高さ調節の使いかた

1. スウィングレバー、車輪スタッパがそれぞれロックされていることを確認する。  
 スウィングレバー、車輪スタッパがそれぞれロックされていることを確認する。
2. 左右のサイドガードの下にある高さ調節ボタンを左右同時に押し上げ、そのまま本体を上下させて、使用する高さにしていただく。また、操作は必ず保護者が行ってください。
3. 左右の高さ調節表示が同じ位置であることを確認する。  
 左右の高さ調節表示が同じ位置であることを確認する。

● お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。

● お子さまを乗せたときは、肩ベルトの通しの位置に肩を合わせず、必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● お子さまが乗っている場合、必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● 調節するときは、必ずスウィングレバーをロックしてください。調節の原因となります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。必ず調節してください。

● お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。

● お子さまが乗っている場合、必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● 調節するときは、必ずスウィングレバーをロックしてください。調節の原因となります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。必ず調節してください。

● お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。

● お子さまが乗っている場合、必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● 調節するときは、必ずスウィングレバーをロックしてください。調節の原因となります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。必ず調節してください。

シートベルトの本体への取り付けかた・はずしかた

● リクライニングを1番立てた状態にして、シートベルトを取り付けます。

シートベルトの本体への取り付けかた・はずしかた

#### シートベルトの本体への取り付けかた・はずしかた

● リクライニングを1番立てた状態にして、シートベルトを取り付けます。  
 ● 肩・腰・股ベルトは必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● リクライニングで背もたれの角度を調節するときは、必ずシートベルトを調節しなおしてください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● お子さまが乗っている場合、必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● 調節するときは、必ずスウィングレバーをロックしてください。調節の原因となります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。必ず調節してください。

● お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。

● お子さまが乗っている場合、必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● 調節するときは、必ずスウィングレバーをロックしてください。調節の原因となります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。必ず調節してください。

● お子さまを乗せたまま高さ調節をしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。

● お子さまが乗っている場合、必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。必ず調節してください。

● 調節するときは、必ずスウィングレバーをロックしてください。調節の原因となります。高さ調節は、必ず保護者が行ってください。必ず調節してください。



## 8. 車輪ブレーキの使いかた

室内で向きを変えたり、移動するときに使用します。移動しないときには、必ず車輪をロックしてください。

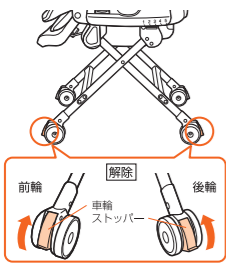
**△警告**

- 移動するとき以外は、必ず車輪ストッパーを下げ、車輪ブレーキをロックしてください。ロックされていないとラックが転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。

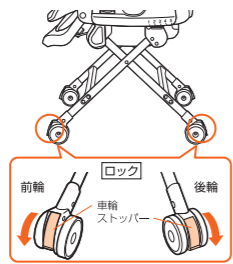
**△注意**

- ラックを移動させるときは横すべりさせないでください。床面に傷ついたりおそれがあります。
- ラックを移動させるときは、スウィングをロックしてください。
- スウィングするときには、必ず車輪ブレーキをロックしてください。スムーズにスウィングできず、故障の原因となります。

**車輪ブレーキを解除する場合**  
車輪ストッパーを上げ、ロックを解除する。



**車輪ブレーキをロックする場合**  
車輪ストッパーを下げ、ロックする。



## 12. 収納レバーの使いかた

コンパクトなサイズにできます。

**△警告**

- お子さまを乗せたまま、収納レバーを操作しないでください。お子さまが落下するおそれがあります。
- 収納レバーの操作は、必ず保護者が行ってください。

**△注意**

- 収納状態では、使用しないでください。
- 収納レバーを操作してラックの高さを下げるときは、ラック本体と床面との間に足や指などを挟むおそれがあります。また車輪などが前後に移動しますので、足元にも注意してください。
- 収納した状態で移動しないでください。床面に傷がつくおそれがあります。
- 収納するとき以外は、収納レバーを使わないでください。

1 ①リクライニングで背もたれの角度を1番狭めた状態にする。

②詳しくは「9.リクライニングの使いかた」をご覧ください。

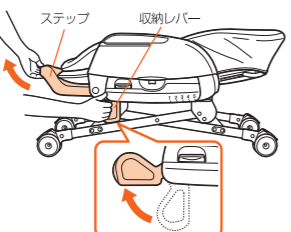
③車輪ブレーキをロックする。

④詳しくは「8.車輪ブレーキの使いかた」をご覧ください。

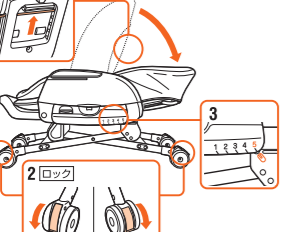
⑤本体の高さを1番下(5段階)の位置にする。

⑥詳しくは「6.高さ調節の使いかた」をご覧ください。

2 ステップを片手で持ち上げながら、収納レバーを片側ずつ、図の方向に回して解除する。



3 そのままゆっくりと下げる。



**△注意**

- 再度、ラックを使用するときには、左右のサイドガードにある高さ調節ボタンを押し、そのまま本体を持ち上げて、使用する高さにしてください。詳しくは「6.高さ調節の使いかた」をご覧ください。

## 9. リクライニングの使いかた

背もたれとステップが連動して動く、5段階のリクライニングです。

**△お願い** 生後2～3ヵ月までの首のすわっていないお子さまは、1番狭めた状態で使用してください。

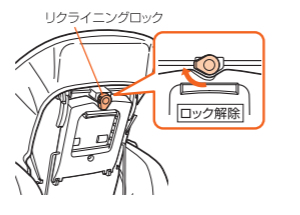
**△警告**

- リクライニングで背もたれの角度を変えたときは、必ずシートベルトを調節しなおしてください。お子さまが寝落ち、シートベルトが前に絡まるおそれがあります。
- リクライニング操作は、必ずリクライニングレバーを持って行ってください。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作をする場合、背もたれを倒す前に必ず肩ベルトの長さを十分にゆるめてください。リクライニング操作後はシートベルトを適切な長さで調節してください。

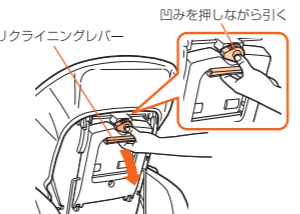
**△注意**

- リクライニングの操作をするときは以外、リクライニングロックでロックしてください。
- リクライニング操作で背もたれを倒かすと、連動してステップが前方に出ます。操作をする前に、前方に障害物のないことを確認してください。

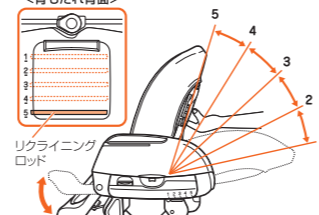
1 背もたれの裏のリクライニングロックを回して、ロックを解除する。



2 リクライニングロックの凹みに親指を押しあてながら、リクライニングレバーを手前に引く。



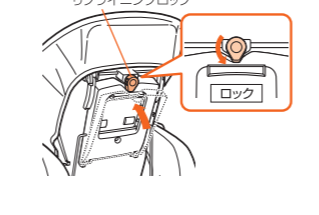
3 背もたれを前後に動かして、使用する角度を選ぶ。ロックを解除する。



**△注意**

- 背もたれとステップは別々に動かすことはできません。リクライニングレバーを軽く押し、背もたれが固定されていることを確認してください。

4 リクライニングロックを回してロックする。



## 13. スウィングベッド&チェア Q&A

正しく効果的にご使用いただき、お子さまとの楽しいひとときにお役立てください。

- Q1** 生後何ヵ月から使用できますか？  
新生児から使用できます。ただし、お子さまの首が立つまでの2～3ヵ月までは、背もたれを1番狭めた状態で使用してください。
- Q2** スウィングの時間は何分くらいが適当ですか？  
お子さまが機嫌よく、心地よい表情でいられるかを目安にしてください。気分が落ち込んだり、泣き始めるときはすぐに止めないで、すぐに機嫌がよくなるまでスウィングを続けてあげてください。10～15分くらいを目安に考えてください。
- Q3** 1日にどれくらい、使用しても大丈夫ですか？  
お子さまを座らせておく時間は、1回30分から1時間くらいが適当です。お子さまが機嫌よくとりまわっている間は問題ありません。1日の使用時間は合計3～4時間を目安にしてください。スウィングしながらお子さまが眠った場合は、すぐにベッドや布団に寝かすと自然に寝てくれる場合がありますので、よく寝ついてから寝かせてください。
- Q4** スウィングさせるときの留意点はありますか？  
リクライニング角度①②にしてお子さまを寝かせ、椅子を再度倒しながらやさしくスウィングしてあげることができるといいです。お子さまが寝落ちるとは、徐々にゆらゆらと小さくしてあげてください。

## 14. 日常のお手入れのしかた

**△注意**

- 中性洗剤原液でのお手入れや、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤でのお手入れはしないでください。本体を傷めるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした部品は、本体をよくお洗ひの上、正しく取り付けてください。

### 本体、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトのお手入れ

- 本体やテーブルが汚れたときは、薄めた中性洗剤またはぬるま湯をやわらかい布に含ませて、拭いてください。
- 車輪は、ほこりなどが付着するおそれがあります。薄めた中性洗剤をやわらかい布に含ませて、拭いてください。
- 股ベルト(股バックルを付けたまま)、肩ベルト、腰ベルトは手洗いしてください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

### シートクッションのお手入れ

- シートクッションは取りはずして、シートクッションに縫製されている洗濯ネットに入れて洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は、洗濯用ネットに入れて、洗濯してください。ほつれや傷みの原因となります。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の排水または手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 乾燥の際は中性洗剤をおすすめします。日光照、漂白剤入り洗剤は肌荒れ、湿疹などおそれがありますので使用しないでください。
- 横型洗濯機(洗濯槽が横、または斜めを向いている)をご使用の場合は、水量が少なくなるとおそれがありますのでご注意ください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- ぬれかきすることがありますので、他の洗濯ものは別に洗ってください。また、つけ置き洗ひも避けてください。
- 汚れにすぐさま、軽く拭いた後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロンがけはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 快調に使用していただくため、こまめに洗濯することをおすすめします。

## 10. スウィングの使いかた

スウィングするときには、必ず車輪ブレーキをロックしてください。

**△警告**

- 必ずシートベルトを締めてください。
- 揺籃ベッドとして使用するときは(リクライニング角度①と②)は、生後児～5-6ヵ月ころ(お子さまの衣服などを含めた荷重制限は18kg、身長70cmまで)にお使いください。
- 揺らしスウィングさせないでください。
- スウィングは保護者が行い、必ず付き添ってください。また、スウィング機種の目安は15分です。それ以上のスウィングは避けてください。
- スウィングは揺籃ベッドのみの機能ですので、いすのとき(リクライニング角度③④)には使用しないでください。いすのときにスウィングを使用した場合、手や足などを挟んだり、乗り降りするときに不安定になります。特にお子さまがふざけて使用した場合、転倒などのおそれがあります。
- お子さまがブランコのように遊ぶことは危険です。転倒や転落のおそれがあります。

**△注意**

- スウィングは水平な床で使用してください。(床が水平でない)、スウィングが正常に動作しない場合があります。
- お子さまを寝かせるときは、肩ベルトの差し込み溝に肩をあわせて寝かせてください。
- 生後2～3ヵ月で首がすわっていないお子さまを乗せてスウィングするときには、背もたれを1番狭めた角度(リクライニング角度①)にしてください。背もたれを立てたままスウィングすると、お子さまが倒れるおそれがあります。
- 授乳後30分以内のお子さまには、スウィングを使用しないでください。ミルクを吐くことがあります。
- スウィングを使用するときには、お子さまの機嫌をよく見てください。機嫌が悪くなるとは、すぐに中止してください。
- スウィングにより本体が前後方向に動くことがあります。あらかじめ障害物のないことを確認してください。
- 本体が収納状態では、スウィングさせないでください。本体下部がこすれて故障の原因となります。

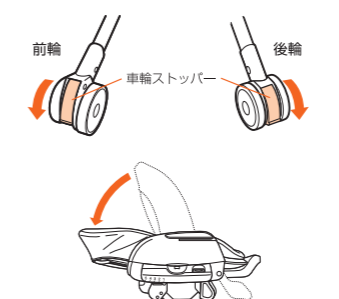
ラックは段差のない水平な床で使用してください。  
※スウィングは、水平でない床や段差がある場所では正常に動作しないことがあります。

1 車輪ストッパーを下げて、4ヵ所すべての車輪ブレーキをロックする。

②詳しくは「8.車輪ブレーキの使いかた」をご覧ください。

2 リクライニングで背もたれを寝かせた角度にする(リクライニング角度①または②)。

③詳しくは「9.リクライニングの使いかた」をご覧ください。



## 15. 保管のしかた

●直射日光を避け、湿度が少なく、雨やほこりから守られる場所に保管してください。

**△注意**

- 火の近くなど、高温になる場所での保管は避けてください。また、荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。変形や変形の原因となります。

## 16. 車輪を付け間違えた際の対処法

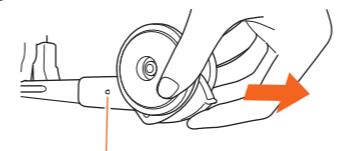
**△警告**

- 本体を取り出す際、お子さまが刺さることを確認してください。
- ケガをするおそれがあります。

**△注意**

- 車輪を付け間違えた時以外、取りはずしは行わないでください。
- 車輪を取りはずす際は、指をささないように注意してください。
- 突っ刺しなどで指を刺さるおそれがあります。
- 万一、指が刺さった場合は、1番ずつ行ってください。
- 万一、指が刺さった場合は、1,7,点検とアフターサービスについてに記載のコンシューマープラザまでお問い合わせください。

1 ノックピンを両側から軽く指で押しながら、車輪を矢印の方向に引っ張り車輪をはずす。



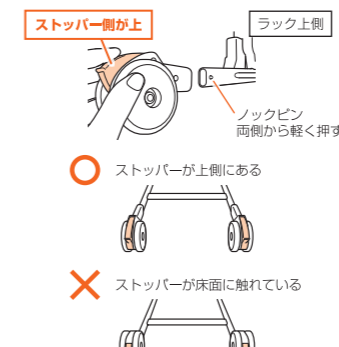
2 ①車輪のストッパーがラック上側に来るように車輪を持つ。

②ノックピンを両側から軽く押しながら、カチッと音がするまで車輪を差し込む。

③車輪を引っ張り、はずれないことを確認する。

**△注意**

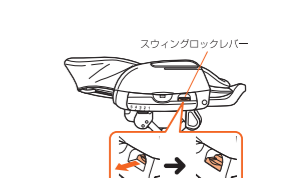
- 車輪には上下の指定があります。(ストッパー側が上)
- 車輪には前後左右の指定はありません。
- パイプの端でケガをしないよう、ご注意ください。



## MEMO

3 お子さまを寝かせて、シーベルトを装着する。

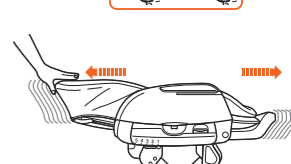
4 サイドガード下のスウィングロックレバーを引き出して、ロックを解除する。



5 手で、背もたれをゆっくり押し上げてスウィングさせる。

**△注意**

- お子さまを寝かせるとき肩ベルト差し込み溝の位置に肩をあわせ、床面中心の位置に足を入れてください。ケガのおそれがあります。
- スウィングを使用しないときスウィングロックレバーを押し込み、スウィングをロックしてください。



## 11. テーブルの使いかた

お子さまの成長にあわせて、前後方向に3段階の調節ができるテーブルです。

**△注意**

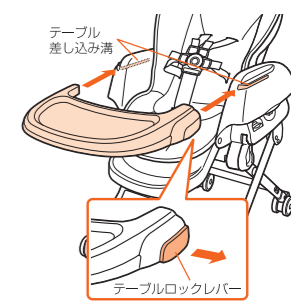
- 本体を持ち上げて移動するときには、テーブルを持たないでください。テーブルがはずれ、本体が落下するおそれがあります。
- テーブルでは、お子さまの脚け出しを長くすることはできません。必ずシートベルトを使用してください。
- 本体前面の調節は、調節ダイヤルを回して行ってください。ケガのおそれがあります。
- テーブルの上におぼろりとしたり、たたりしないようにしてください。落下するおそれやテーブル破損の原因となります。

1 テーブル両側のテーブルロックレバーを外側に引っばる。

2 本体前面のテーブル差し込み溝に、テーブルを取り付けて差し込む。

3 前後3段階からお子さまの体型にあわせて取り付ける。

4 テーブルを軽く前後に押し、抜けないことを確認する。



テーブルははずしかた

テーブル両側の2ヵ所のテーブルロックレバーを外側に引っばり、そのままテーブルを引き抜きます。

## 17. 点検とアフターサービスについて

- ネジのゆるみ、部品の変形および作動不良などの異常がないか点検してください。1ヵ所でも異常が見つかった場合は、すぐに修理を申し込んでください。そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。
- 危険です。むやみに改造や分解はしないでください。
- 製品の修理/部品販売は、原則として製品の製造中止から3年後までとなります。この期間内でも該当製品の在庫がなくなくなった場合、対応できないことがあります。また、色や仕様が若干異なる部品で対応させていただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

**コンシューマープラザ**  
(Customer Service Center)  
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区上新田271 TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

(Customer Service Center) / 西日本担当  
〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16 オフィスポート内本町駅前 TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

## 18. スウィングベッド&チェアの「標準使用期間」について

スウィングベッド&チェアの「標準使用期間」は、「新規購入後6年」です。標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を失った状態になるおそれがあります。不測の事態に備えてご留意をお願いします。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間内でも該当製品の在庫があるかもしれません。品質保証期間に付随している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合は修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 標準使用期間が不明な製品の再利用はお控えください。

## 19. 廃棄方法について

●お住まいの自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。 ●地球環境のため、放置はしないでください。

### SGマークの被害者救済制度

SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたとき認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。

ハイローラックの場合は、お買い上げ日より4年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意  
認定された被害者のものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも被害などの身体的損害(人的損害)について賠償する制度です。

●事故の届出に必要な項目  
①事故の届出となった製品届出  
●製品安全協会  
東京都台東区電線2丁目20番2号  
ミツウロクビル3F 3階  
https://www.sg-mark.org/repair/

●被害者の状況  
②製品名、SG番号・購入先、購入年月日  
③事故発生年月日・事故発生場所・事故発生状況  
④被害者の状況  
●被害者の氏名、年齢、性別、住所・被害の状況